

令和2年度 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

議事録

[第 1 回 委員会]

1. 日時 令和3年3月4日(木) 13時30分～16時00分
2. 場所 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構本社会議室
3. 出席者 委員 : 家田委員長、山内委員、岩倉委員、岸委員
外部専門家 : 飯尾教授、大西准教授、小林准教授

4. 議事

(1) 委員長の選出について

- 家田委員が選出された。

(2) 令和2年度独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会 運営要領(案)について

- 事務局案は了承された。

(3) 整備新幹線事業の再評価対象事業に関する事業評価報告書(案)について

■ 委員からの主な意見

審議の結果、以下の意見が出された。

① 加賀トンネル盤ぶくれについて

- ・当該区間は周辺でのトンネル施工事例がほとんどない中で、対応策を講じてはいなかったものの、盤ぶくれの発生に至ってしまったと認識している。

② 地盤に対する事前調査について

- ・地盤はあらゆる公共事業において工期や時間を変動させる大きな要因であり、コストがかかるとしても、より精緻な事前調査を行うべきであるとする。

③ 事業費の増加要因について

- ・事業費の増加については、事前に予期することが難しい外部要因があることを記載すべきとする。

(4) 整備新幹線事業の事後評価対象事業に関する事業評価報告書(案)について

■ 委員からの主な意見

審議の結果、以下の意見が出された。

① 北海道新幹線の札幌延伸について

・北海道新幹線は札幌まで延伸して初めて効果を発揮すると考えられるため、「全体として効果を見るべきである」といった内容を総括として記載すべきと考える。

② 地元へ向けたメッセージについて

・地元に対しての「新幹線の開業効果が発現するか否かは、地元の自治体や企業等がいかに協調、連携できるかに懸かっている」というメッセージを、好例を示しつつ記載すべきと考える。

5. その他

■上記意見を踏まえた資料の修正を行い、第2回委員会を開催して修正内容を審議することとなった。